

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】平成21年11月12日 (2009.11.12)

【公表番号】特表2009-508659(P2009-508659A)
【公表日】平成21年3月5日 (2009.3.5)
【年通号数】公開・登録公報2009-009
【出願番号】特願2008-532394(P2008-532394)
【国際特許分類】

A 6 1 F 2/82 (2006.01)

A 6 1 B 17/24 (2006.01)

A 6 1 B 17/32 (2006.01)

【F I】

A 6 1 M 29/02

A 6 1 B 17/24

A 6 1 B 17/32

【手続補正書】

【提出日】平成21年9月18日 (2009.9.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

患者の気道の狭窄の部位で気道気球拡張手技を行なうための装置であって、
中心軸と、

患者が中空コアを通して人工呼吸を施されることを可能にするのに適した中空コアと、
外表面を有する膨張式の外部気球と、

少なくとも 1 つの膨張式の内部気球とを備え、

前記は装置収縮させられた構成と膨張した構成の間で前記気球の移動のための患者の前
記気道に挿入することができ、前記少なくとも 1 つの内部気球前記外部気球の内部でさら
に前記外部気球とは別々に膨張するように構成されたこと

を特徴とする装置。

【請求項 2】

前記膨張式の外部気球は、前記狭窄に対する位置において前記外部気球を保持するた
めに垂鈴型であることを特徴とする請求項 1 に記載の装置。

【請求項 3】

複数の内部気球を備えることを特徴とする請求項 1 に記載の装置。

【請求項 4】

第 2 の内部気球の内部に含まれる第 1 の内部気球と、第 3 の内部気球の内部に含まれる
前記第 2 の内部気球と、前記外部気球の内部に含まれ別々に膨張式であるすべての内部気
球とを含む 3 つの内部気球が存在することを特徴とする請求項 3 に記載の装置。

【請求項 5】

複数の膨張式の内部気球を備え、すべての内部気球は、前記外部気球の内部に含まれ、
前記外部気球と同時に膨張式であることを特徴とする請求項 3 に記載の装置。

【請求項 6】

前記装置の前記中心軸に沿っておよび前記外部気球の外表面上にマウントされた縮み支
柱部材をさらに備え、前記縮み支柱部材は、移動と同時の間に前記外部気球の前記外表面

に実質的に迎合的であり、少なくとも１つの顕微手術のブレードは、前記支柱部材に添えられ、前記外部気球の膨張で効果的な最前部を形成するのに適していることを特徴とする請求項１に記載の装置。

【請求項７】

前記装置は実質的に一定の深さで前記狭窄へ深く入れるのに適した複数のブレードを含むことを特徴とする請求項６に記載の装置。

【請求項８】

前記支柱部材は、ポリウレタン材料で作られており、少なくとも１つのブレードがステンレス鋼で作られていることを特徴とする請求項６に記載の装置。

【請求項９】

前記中空コアは、ガイドワイヤーの通路を通ることを可能にすることができるほど十分に単に大規模であることを特徴とする請求項６に記載の装置。

【請求項１０】

少なくとも１つのブレードはブレード軸を備え、少なくとも１つのブレードは、装置の中心軸と実質的に平行なブレード軸により支柱部材上で延長されマウントされていることを特徴とする請求項６に記載の装置。